

広島大学交響楽団

教育学部学生 大久保 雅 子



こんにちは、広島大学交響楽団です。今日は、私達の活動内容を御報告したいと思います。

まず、毎年行っている行事として、4月広大音楽祭、5月新歓合宿、7、8月強化練習、9月合宿、10月音楽教室、フェニックスコンサート、11月東広島市教育祭、そして12月に活動の中心として定期演奏会を開いています。その他に本年度は、3月広大卒業式依頼演奏、6月吹奏楽団、室内合奏団とによる三団体合同演奏会、10月には、なんとあの大林監督による「ふたり」の映画出演、12月全日本大学オーケストラ大会（東京）にも出場し、全国に「広大オケ」の名を広めて参りました。

このように、私達広大オケは西条を拠点とし週2、3回わずかな練習場所と時間をやりくりしながら、一生懸命がんばっています。来年はとうとう40周年。一つの節目を迎えて、さらに発展しようとしています。こんな広大交響楽団にあなたも入ってみませんか。

将棋部の実態

総合科学部学生 安 部 哲 人



将棋部の特徴は何と云っても拘束のない自由な気質です。日常の活動は週1回の例会日を除いては好きな時に部室に来て好きな相手と将棋を指すことで各自が棋力の向上に努めています。そして年数回ある各種大会で日ごろの成果を試すわけです。今年度は春季中・四国大会で団体戦A級優勝、秋季中・四国大会では同2位とまずまずの成績を残し「強豪広大」の伝統を守っています。

将棋のこと以外にも新歓コンパ、忘年会、追い出しコンパ、大会打ち上げコンパなどのバカ騒ぎを季節の節目節目に散りばめ、秋には恒例の秋合宿、その他ソフトボール大会、キャンプなどの文団連の行事にも積極的に参加し、個人的には週末に麻雀大会などといった具合に多彩な年間行事は尽きることはありません。

現在、将棋部は大学の西条移転の影響もろに受け、分断状態にあるために、活動も以前と比べるとやや停滞気味となっていますがなんとかこの難局を乗り切って広大将棋部の伝統を守っていききたいと思います。